

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	開田高原農業長寿命化事業
事業主体 (連絡先)	木曾町役場 開田支所 振興係 (0264-42-3331)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大に関する事業 イ農業振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,229,775 円 (うち支援金：983,000 円)

事業内容

農作業時の腰への負担を軽減し農業従事寿命を延ばすためにサポートスーツを購入した。3種類15個を6月から11月まで野菜部会の人を中心にそれぞれ貸与した。また、農作業後に自分でも膝や腰のケアが行えるよう農家向けの健康教室を実施した(2回)。アンケートを行いサポートスーツの使用感や購入意欲、健康教室を含めて実施したことにより農業を行いたい(行えるか)期間が延びたかを調査した。

- ・サポートスーツ貸与 12名
- ・健康教室 9月、1月 参加計12名



【農家向け健康教室の様子】

【目標・ねらい】

- ① 農作業時の負担の軽減
- ② 自身で行えるケア方法の習得
- ③ 負担軽減に伴う農業従事期間、意欲の向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① ある程度効果を感じるものの、買いたいとまではいかないという意見が多かった。すべての種類を試してもらったため一人当たりの貸出期間が短かったので、体に合う種類を固定し長期的に試す必要性を感じた。
- ② ボールやポールが必要であり個人で行うには多少の準備が必要なものの、実施後関節の可動範囲が広がる等好評であった。
- ③ 健康教室による期間向上は見られたものの、各種の使用期間が短かったこともありサポートスーツでは思ったほどの効果を得ることができなかった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

貸出期間が短く十分に試着が行えなかったため、体に合うサポートスーツを選んでもらい今後も貸し出しを継続し、長期的な使用感を確かめていきたい。長期で使ってもらった意見を集約し希望次第で町補助制度の作成に反映させたい。

※自己評価【C】

【理由】

- ・健康教室での効果は見られたものの、サポートスーツでの効果が低かったため。
- ・様々な種類を試してもらうことを優先し、使用期間が短くなってしまったため。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある